



＼PICK UP／ 今月の表紙

本庄市高校生プロジェクト「七高祭」が今年も始まりました。
今年は〈吉本興業〉の皆さんが高校生をサポート！笑いに包まれた和やかな雰囲気の中で、学校の垣根を超えた高校生の活動が始まっています。

人の動き

(2024. 6. 1 現在)

		前月比
総人口	7 6, 9 9 8	－ 2 1
男	3 8, 5 1 6	－ 1 5
女	3 8, 4 8 2	－ 6
世帯数	3 6, 3 8 2	＋ 5 6

(人口増減の内訳)

自然増減	社会増減
出生 35	転入 302
死亡 89	転出 262
増減 － 54	増減 ＋ 40
その他の増減 － 7	

CHECK 市公式 SNS

LINE Instagram YouTube Facebook



お子さん・お孫さんと一緒に

本庄産あまりんを摘んで楽しむ1日

5月25日、五十嵐^{いちご}苺園であまりんの収穫体験が開催され、大きく真っ赤なあまりんに、こどもから大人まで夢中になりました。

収穫の後には、採れたてのあまりんの試食と本庄野菜に関するクイズが行われ、とっても甘い本庄産あまりんを楽しみながら、本庄野菜の知識を深めました。



「もしも」のときに備えて

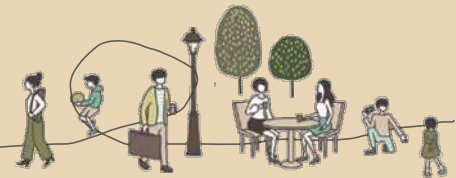
児玉地域防災訓練

6月2日、大規模災害を想定した「児玉地域防災訓練」が行われました。

セルディへの避難訓練に参加した方たちは、避難所での受付方法や、実際に避難した際に使うパーティションの組み立て方、ダンボールベッドの使い方等を学びました。

Touch 《タッチ》

一人から人へ紡ぐ、あなたの物語



このまちで暮らす、皆さんの物語をリレー方式で紹介していきます。

今回の紹介者 ▶▶▶▶▶
新井大輝さん（ラリードライバー）



濱田 和之さん / 庭師

- ▲ みどり緑代表。庭師として造園業を営む。
- ▲ 今年開催された「第1回彩の国バラとガーデニングショー」で埼玉県知事賞受賞。

Story.2 "緑"を守ることが、人が集まるきっかけを作る

出身が奄美大島で、仕事の関係で埼玉県に移り住んできました。もともと奄美の自然が好きだったのもあって、20代で造園業の世界に飛び込み、気づいたら夢中になっていました（笑）。

普段は庭師として、一般のご家庭から企業が所有する庭園まで、造園やその維持管理を行っています。その中でも特に意識しているのは、土の中の環境改善です。土の中の環境が良くなると、その場所だけでなく周辺の植物や水質といった環境の改善にもつながります。

そんな仕事の知識をいかし、地元の方や小学校と連携して、地元の自然を保全する活動や、その周知にも取り組んでいます。

POINT 庭師ってどんな仕事？



樹木・草木や地形土壌に関する豊富な知識をもとに、庭造りとその維持管理を行う専門家です。

独立して立ち上げた会社の名前は、『みどり緑（えん）』です。今の自分があるのは、"緑（みどり）"がつかないでくれたさまざまな"緑"があったから。

今度は自分が"緑（みどり）"を守り、いかしていくことが人と人が集まるきっかけにつながるといいな、と思っています。



誰でも楽しめる「ニュースポーツ」を体験！

初夏のニュースポーツフェスタ

6月1日、タカハシソースエコーピアで初夏のニュースポーツフェスタが開催されました。

会場では、輪投げ、ファミリーバドミントン、レクリエーションボッチャ等、こどもから大人まで楽しめるスポーツの体験会が開かれ、家族連れや友人同士で来場の方がたで大いににぎわいました。



公園から見える山々がより楽しめる

マリーゴールドの丘公園に山名板を設置

6月6日、本庄ロータリークラブの皆さんから寄贈された『山名板』がマリーゴールドの丘公園に設置され、除幕式が行われました。

この山名板は、公園利用者からの声に応じて寄贈いただいたものです。晴れた日には、すばらしい眺望を楽しみながら、山の名前が学べます。ご厚意ありがとうございました。